

関係各位



2026 年 7 月 17 日
共栄電資株式会社
KYOEI DENSHI CO., LTD.
代表取締役社長 荒井 貴

弊社 東北工場における塩酸漏れ事故について

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、弊社における業務中の事故により、多大なるご迷惑とご心配をお掛けする事態が発生いたしましたこと、深くお詫び申し上げます。つきましては、下記のとおり事故の経緯および現状についてご報告いたします。

今後はこのような事態を再び引き起こさぬよう、全社を挙げて再発防止に努めてまいります。
まずは取り急ぎ、書面にてご報告とお詫びを申し上げます

敬具

記

① 事故の内容

発生日時 2026 年 7 月 16 日(木)午前 10 時頃

塩酸をタンクローリーから地上に設置してあるタンクへ移送中に、弊社タンク側のバルブが劣化していたところから塩酸が漏れました。その際に塩酸の一部が作業者に掛かりました。漏れた塩酸は1ℓ～5ℓで防液堤内に溜まりました。

② 被害状況

塩酸が掛かった作業者は当社社員で、保護具を着用。1 名は背中に軽いやけどを、もう1名は軽い結膜炎と診断。事故直後に流水で洗う処置を行い、全治1週間程度となりました。

防液堤内へ漏れた塩酸(1ℓ～5ℓ)は、直ぐに水で薄めたため近隣への影響はありません。

製品についても被害はありません。

③ 現在の状況

事故直後からエッチングラインを停止していましたが、7 月 16 日 20 時に修理が完了し、安全が確認できたため運転を再開しています。

④ 今後の対応

バルブ類の一斉点検を行い、劣化等みられるものは交換致します。

2 度と起きないような対策と今後の安全衛生活動を展開して参ります。

以上